

2010年1月21日

岡山県知事 石井 正弘 殿

民主党岡山県総支部連合会  
代表 津村 啓介  
(地域主権委員会)  
委員長 柚木 道義

## 岡山県への政策提案について

私たち民主党岡山県総支部連合会（地域主権委員会）では、これまで県下の数多くの各種団体等の方々から要望や陳情をいただき、意見交換を重ねてまいりました。

その中で国に対するものについては、速やかに対応を行ったところですが、県政に関わるものについては、今後、党所属の県議会議員による議会活動やさらなる調査活動等により、可能な限りいただいた要望の実現に努めるなど、適切に対応していくこととしています。

こうした状況の中、下記の項目については、これまでの関係団体の方々との協議を踏まえつつ、県への新しい政策提案項目として整理を行い、今回、提案させていただくことといたしました。

今後は、来年度以降の県政への反映などについて、特段のご配慮をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 暮らしやすさを重視した中山間地域振興

少子高齢化、過疎化が進む地域については、そこに住む人や、交流や定住を希望する人のニーズを踏まえながら、地域の維持・発展につなげていく施策が望まれます。

具体的には、以下のとおり提案します。

- (1) 総合的な視点に立った公共交通のあり方の見直しと、それに基づいた施策の推進
- (2) UIJターン希望者のため、県主導で農地売買に係る障害を解消するなど、定住を進めるための農地利用促進の取り組み

#### 2. 協働のしくみの改善

NPOは、地域の中の様々な課題に取り組む重要な主体です。

新しい公共の担い手として、より力を発揮できるよう、県や市町村との協働のしくみの改善が求められています。

具体的には、以下のとおり提案します。

- (1) 委託事業や補助事業の支払方法における前金・部分・概算払いの周知
- (2) フルコストリカバリーの考え方を踏まえた適切な経費負担割合の検討

### 3. 地域で活動する人たちへの支援

栄養委員や愛育委員などの地域における活動は、住民の健康維持や福祉の向上のために欠かせない存在となっています。人間関係が希薄化する中で、コミュニティーの維持などにも大きな役割を果たしています。

新たなニーズに対する対応も含め、これらの人たちが地域において十分な活動が行なえるよう積極的に支援をすることが必要です。

### 4. 地域における医療体制の整備

県内どの地域でも安心して暮らせるよう医療体制の整備が求められています。

日常や学校生活を支えるための医師等の配置や、緊急時に対応できる体制の充実など、両面から進めていくことが必要です。

具体的には、以下のとおり提案します。

- (1) 県内すべての医療機関に必要な診療科の医師を公平かつバランスよく配置するための実効性のある仕組みづくり
- (2) スクールヘルスリーダーの配置時間の増、及び人材の確保
- (3) ドクターヘリ夜間搬送に向けた課題整理と実現に向けた取り組み
- (4) ドクターヘリの離着陸地のさらなる確保

### 5. 医療・介護・福祉人材の確保

高齢社会の進展に伴い、医療・福祉を担う人材の確保が急務となっています。

サービスの質・量を確保するためには、医療・介護・福祉の現場に優れた人材が集まり、定着するような仕組みづくりが求められています。

具体的には、以下のとおり提案します。

- (1) 進路選択学生等支援事業の推進など、進路指導に当たる教育関係者の理解を深め、協力が得られるような対策の実施
- (2) ニーズに合わせた保育所の利用や、病児保育施設、学童保育などの環境整備

### 6. 障がいのある人や難病患者への支援

障がいのある人や難病患者の人たちが自立し、主体的な生活を送ることができる社会の実現が望まれています。

三障がい（身体・知的・精神）のある人や難病患者の人たちに対する、きめ細かな視点をもった取り組みを求めます。

具体的には、以下のとおり提案します。

- (1) 精神障がい者が相談しやすい環境の整備や、相談体制の充実強化
- (2) 地域移行推進協議会「住宅部会」の報告を踏まえた、精神障がい者の住宅確保のための様々な取り組みの実施
- (3) 県や市町村における障がい者施設・事業所の製品の優先購入、及び公園維持管理事業などの優先的な発注など、受注増につながる実効的な方策の検討・実施
- (4) 公営住宅のグループホーム事業への活用の推進
- (5) 県における知的・精神障がい者や難病患者の雇用の場の確保に向けた取り組み